

19歳 7 暮まじぐら

今回は、来年、成人式を迎える鳥喰下の市原悦子さんの登場です。家族と仕事は？



町内に勤めている両親と、大学へ行っている兄、それに私の四人家族です。私は、八日市場の設計事務所に勤めています。

休みの日は？

友だちと映画を見に行ったり、千葉へショッピングに出かけたりしています。自動車の免許をとって半年ぐらいなんですが、車が好きて、よくドライブに出かけることもありま

す。 社会人二年目を迎えた市原さん。明るい笑顔が、と

車で沖縄、北海道へ 市原悦子さん(鳥喰下)

でも健康的です。今年やってみようか、将来の希望などは？

寒い北海道か、暖かい沖縄へ行ってみたいんですが、会社の休みもなかなかとれませんが、できれば、車が好きなんで、車で行けたら最高ですね。

今、花嫁修業というわけではないんですが、料理教室へ通いたいと思っています。二十二、三歳までには、お嫁に行かなくっちゃ……。

市原悦子さん、十九歳。ただ今青春まじぐら！

が通っています。

練習は、月曜から金曜までの五日間、五時半から七時まで行われています。

同保育園に勤めながら指導にあたり、同僚の渡辺泰規さんは「子供たちが剣道を通して、すなおな心、物事のけじめ、正しい礼儀を身につけてもらいたいですね」と話していました。

また、今年の目標について「七月に県の大会が行われる予定ですので、出場して、ぜひいい成績を納めたいと思いますが、試合などを通じてすなおな心、物事のけじめ、正しい礼儀を身につけてくれることを目標にしています」が、少年剣士たち！



7 こんにちは



フタバ剣友会

同僚の渡辺泰規さんは「子供たちが剣道を通して、すなおな心、物事のけじめ、正しい礼儀を身につけてもらいたいですね」と話していました。

携えて、その家を訪れ「お宅では赤ちゃんが生まれるそうで、おめでとうございます」と一方的にあいさつをして座敷に上がり込みます。家の人があわてて片付けた部屋の正面に用意の掛軸を掲げると、車座になって持参の酒肴で酒盛りを始めます。お嫁さんがあいさつに出て来ると座布団に座らせ、すきを見て座布団の四隅を持つて嫁さんもち上げます。驚き悲鳴を上げる嫁さんを下ろすと「めでたい、めでたい」と、残りの酒肴で酒盛りを済ませて帰っていく、というものです。

として評価してよいと思います。写真は、両国新田の子安様の石像です。この石像の由来などについて地元の人々は、あまり関心を持っていないようです。ちなみに栗山にも、二十センチほどの極彩色の女装の立像で、鬼子母神のように見受けられる尊像を祠に祭っておりますが、やはり地元の人々は「子安様」とだけ呼んでいます。

子安様の主尊は、木花咲耶(このはなさくや)姫、または鬼子母神といわれています。おのおの人から「昔から行っている子安講に祭る神様は、子安様」というお話を聞きしていると、子安講という行事は口碑によって、女性の間に伝承されている風習の一つと考えられるのです。

(風習と口碑が主体なので、案内図を割愛させていただきます)

横芝町文化財審議会委員 小沢春光氏寄稿



▲左手に抱いている赤ん坊の姿が、哀愁を誘う、両国新田の子安石像